

PCAインドネシア株式オープン

追加型投信／海外／株式

販売用資料

2009.11

一万数千の島々。
世界第4位の人口。

インドネシア

INDONESIA

当ファンドの
主なリスク



株価変動
リスク



為替変動
リスク



信用
リスク



流動性
リスク



カントリー
リスク

当ファンドは値動きのある投資信託証券を主要投資対象とします。このため、一般的にわが国の預貯金および国債等と比較して高いリスクがありますので、ご購入時の価額を下回ることもあります。

当ファンドの
手数料等の
概要

- お申込手数料：上限3.675%
 - 実質的な信託報酬率：年1.8215%程度
 - 信託財産留保金：換金の受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額
- ※その他の費用等の詳細につきましては、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご確認ください。

お申込みの際は「投資信託説明書（交付目論見書）」、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）をご覧ください。

「投資信託説明書（目論見書）」のご請求、お申込みは

設定・運用は



イオン銀行

商号等 株式会社イオン銀行
登録金融機関 関東財務局長（登全）第633号
加入協会 日本証券業協会

ピーシーエー・アセット・マネジメント株式会社

ピーシーエー・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
加入協会 社団法人 投資信託協会
社団法人 日本証券投資顧問業協会



PCA ASSET

ガルーダ(神鳥)の国、インドネシア

今、大きく飛び立とうとしているインドネシア。
多くの若年人口と豊富な資源を有するインドネシアは、
世界経済の新たなけん引役として注目されています。
アジアの成長を信じる私たちPCAアセットは、
次の成長市場として期待の高まるインドネシアへの
投資機会を投資信託を通じてご提供いたします。



ガルーダ(神鳥)とは

ガルーダは、インドの文化とともにインドネシアに
伝えられたインド神話の鳥。人々に恐れられる
蛇や竜を退治する神鳥として崇拝されており、
インドネシアの国章のモチーフにもなっています。

インドネシアの概要



国旗は赤と白の2色。赤は勇気と情熱を、
白は真実と聖なる心をあらわす。

独立 1945年
人口 約2.28億人(世界第4位)
首都 ジャカルタ(914万人)
面積 約189万km²(日本の約5倍)
言語 インドネシア語
宗教 イスラム教(88.6%)、キリスト教(8.9%)、
ヒンドゥー教(1.7%)、仏教(0.6%)など
通貨 インドネシアルピア
政治体制 大統領制、共和制

元首都 スシロ・バンバン・ユドヨノ大統領
主要産業 鉱業(石油、LNG、アルミ、錫)、農業(米、ゴム、パーム油)、
工業(木材製品、セメント、肥料)
名目GDP 5,118億米ドル(2008年)
(国内総生産)
外貨準備高 623億米ドル(2009年9月末)

(出所:外務省、国際連合、IMF世界経済見通し2009年10月)

インドネシアはどんな国?

世界最大の島しょ国家 主要な5島と中規模な群島を含めた**17,000以上の島々**から成る。

多様な民族文化 約9,000の島々に**約490の民族集団**が存在。

世界的リゾート **バリ島**をはじめとする独特の文化と自然環境に恵まれた**リゾート地**は、
世界中の旅行者に人気。

豊かな自然 熱帯雨林には、マレー語で「森の住民」といわれる**オランウータン**も生息。

文化と歴史 現在のインドネシア文化は、仏教文化・ヒンドゥー教文化・イスラム文化が融合したもの。
仏教遺跡の**ボロブドゥール**やヒンドゥー教遺跡の**ブランバナン**は観光地としても有名。

世界遺産 インドネシアには**7つの世界遺産**がある。

世界最大の爬虫類といわれる「**コモドオオカゲ**」が
生息する**コモド国立公園**もそのうちの自然遺産の一つ。

(出所:インドネシア共和国文化観光省ホームページ他)



当ファンドのリスクは3ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「手数料等」の欄にて
ご確認いただけます。また、それぞれの詳細につきましては、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



当ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある投資信託証券を主要投資対象としており、投資する投資信託証券等の価額の変動により、当ファンドの基準価額は影響を受け投資元本を割込むことがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替変動リスクもあります。したがって、当ファンドは元金が保証されているものではありません。また、信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

当ファンドが有する主なリスクは以下の通りです。

1 株価変動リスク



株式の価格は、内外の政治経済情勢、株式を発行する企業の業績および信用状況等の変化の影響を受け変動します。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて株式に投資しますので、株式の価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

2 為替変動リスク



為替相場は投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制等の要因により変動します。当ファンドは、実質的に組入れた外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場が円高方向に変動した場合には、基準価額の下落要因となります。

3 信用リスク



有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、当該有価証券等の価格が大きく下落(価格がゼロになることもあります。)することがあります。当ファンドが実質的に組入れた有価証券等にこうした事態が起こった場合は、基準価額の下落要因となります。

4 流動性リスク



組入れた有価証券等の市場規模が小さく取引量が少ない場合、または市場が急変した場合、当該有価証券等を売買する際に、希望する時期や価格で売買できない場合があります。当ファンドの一部解約金の支払資金手当てのために、実質的に組入れた有価証券等を売却する場合には、市況動向や流動性等の状況によっては基準価額の下落要因となる可能性があります。

5 カントリーリスク



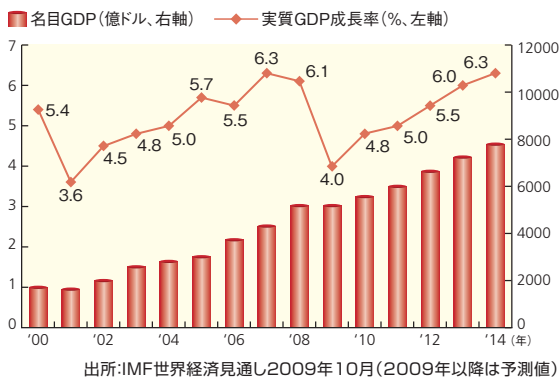
一般に、エマージング・カントリーへの投資は先進主要国の市場と比較して、市場規模が小さく流動性の低い市場も含まれるため、株式の値動きが大きくなる傾向があります。また、先進主要国の経済と比較して当該国・地域の経済は脆弱である可能性があるため、インフレ、国際収支、政治・社会不安の悪化等が株式市場や為替市場に及ぼす影響は先進国以上に大きいものになることが予想されます。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて主としてインドネシアの株式に投資を行います。そのため、当該国の政治、経済および社会情勢等の変化ならびに法制度等の変更により市場が混乱した場合、または取引に対して新たな規制が設けられた際には、基準価額の下落要因となる可能性があります。

BRICsに続き、さらなる飛躍が期待されるインドネシア

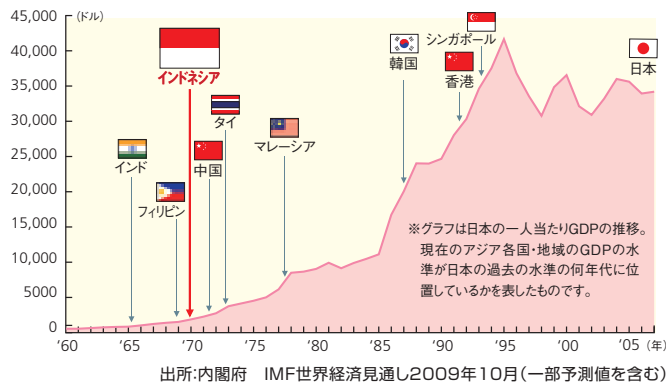
高い経済成長力

- ◎ 平均5.1% (2000年～2008年) の経済成長を遂げるインドネシア。今後も中国、インドに次ぐ高い経済成長が期待されています。
- ◎ 1人当たりGDPで見ると、日本が高度経済成長の真ただ中であった1970年前半に位置しており、成長の余地は大きいといえます。

■ GDPの推移 (2000年～2014年)



■ アジア各国・地域の1人当たりGDP (2007年)



ゴールドトライアングル【インドネシア・中国・インド】

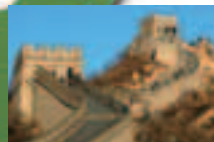
世界経済のけん引役として存在感が高まる中国とインド、そしてこれからはインドネシアも加えた3カ国。

- ◎ 資源供給国のインドネシア、資源消費国の中国・インド ⇒ 中国、インドの経済成長はインドネシア経済の成長を促進。
- ◎ 消費の拡大: 世界第4位の人口がもたらす消費の拡大は、GDPを押し上げる要因に。

インド 人口:11億人
GDP成長率:7.3%



中国 人口:13億人
GDP成長率:9.0%



高い経済成長力
約26億人の人口
拡大する消費



インドネシア 人口:2億人
GDP成長率:6.1%

■ 輸出先国・地域別の輸出額 (百万ドル)

輸出先	2006年	2007年	2008年	構成比	伸び率
中国	8,344	9,676	11,637	8.5%	20.3%
インド	3,391	4,944	7,163	5.2%	44.9%
ASEAN	18,483	22,292	27,171	19.8%	21.9%
日本	21,732	23,633	27,744	20.2%	17.4%
米国	11,232	11,614	13,037	9.5%	12.3%

出所: 日本貿易振興機構 (ジェトロ) J-FILE、通関ベース、FOB
※ 構成比は2008年、伸び率は2007年～2008年

出所: 国際連合、IMF世界経済見通し2009年10月、人口は2005年、実質GDP成長率は2008年

そして、【資源】と【人口・消費】というインドネシアの成長の翼が、インドネシアをさらなる飛躍へ。

インドネシアの経済成長を支える両翼とは

1. 豊富で多様な天然資源

インドネシアは原油・天然ガスに加え、天然ゴムやパーム油など多様で豊富な資源に恵まれており、中国・インド向けを中心とした輸出による経済成長が期待されます。

2. 人口増加による消費の拡大

インドネシアは若年層の多い世界第4位の人口を擁することから、今後一層の消費の拡大が見込まれ、内需による経済成長も期待されます。



※ 上記は作成時点において各種データに基づき作成したものです。必ずしもその情報の正確性、完全性を保証するものではなく、今後記載内容に変更が行われることもあります。また、記載内容が将来期待通りにならないことで運用環境が悪化する可能性があります。さらに、将来の運用成果をお約束するものではありません。

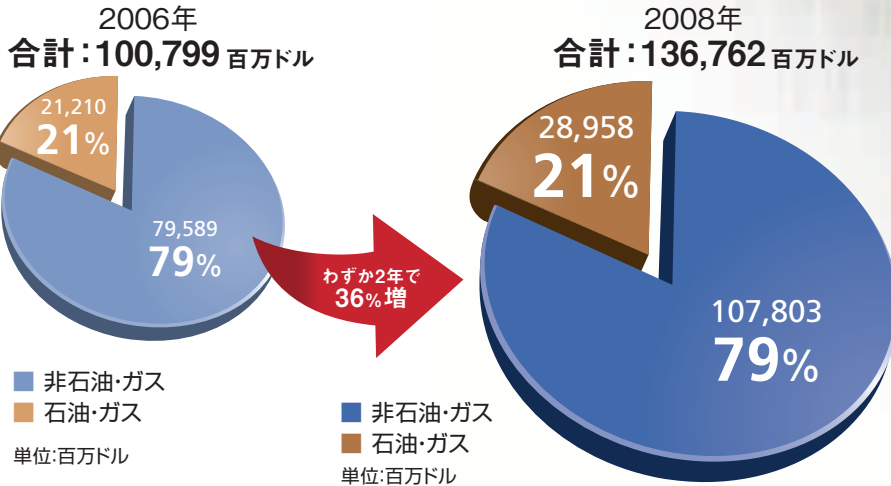
当ファンドのリスクは3ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「手数料等」の欄にてご確認ください。また、それぞれの詳細につきましては、「投資信託説明書 (交付目論見書)」をご覧ください。



【資源】豊富かつバラエティに富んだ天然資源

- ◎ インドネシアは鉱物燃料、動植物性油脂といったエネルギー・食料品双方をカバーする資源大国です。
- ◎ 今後5年間で、中国・インド向けの資源輸出は倍増する見込みです。

■ インドネシアの輸出額



非石油・ガス: 動植物性油脂、鉱物性燃料、電気機器・部品、ゴムおよび同製品、機械・部品
石油・ガス: 原油、石油製品、ガス

出所: 日本貿易振興機構(ジェトロ)J-FILE、通関ベース、FOB

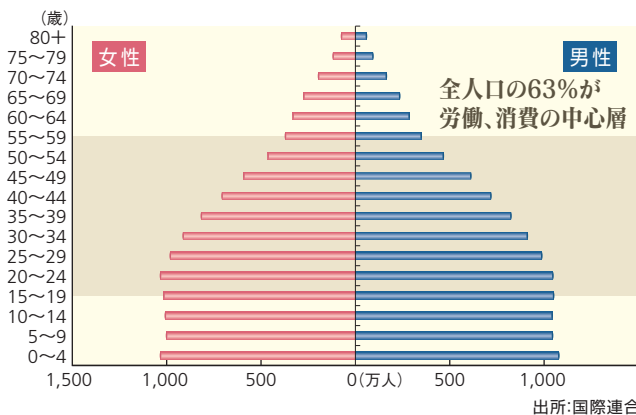


【人口】世界第4位の人口(2.2億人) 若年層に厚みのある人口構成

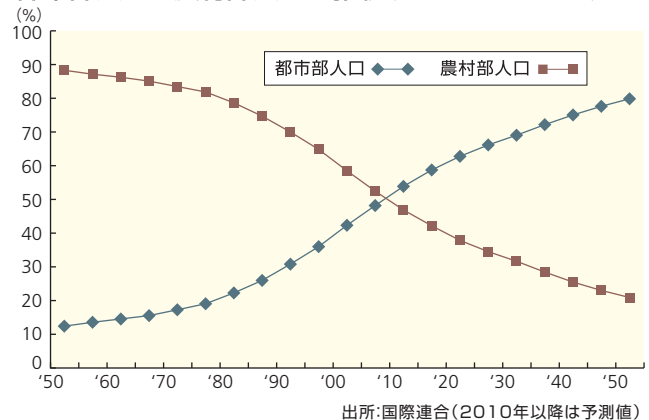
- ◎ 若年層に厚みのある人口構成は、豊富な労働力と消費のけん引役として期待されています。
 - ◎ 近年、都市部の人口が急速に増加しており、所得の増加にともなう消費の拡大が期待されます。
- この状況は、高度成長期の日本にも見られました。



■ インドネシアの年齢別人口構成(2005年)



■ 都市部人口と農村部人口の推移(1950年~2050年)



※ 上記は作成時点において各種データに基づき作成したものです。必ずしもその情報の正確性、完全性を保証するものではなく、今後記載内容に変更が行われることもあります。また、記載内容が将来期待通りにならないことで運用環境が悪化する可能性があります。さらに、将来の運用成果をお約束するものではありません。



当ファンドのリスクは3ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「手数料等」の欄にてご確認ください。また、それぞれの詳細につきましては、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

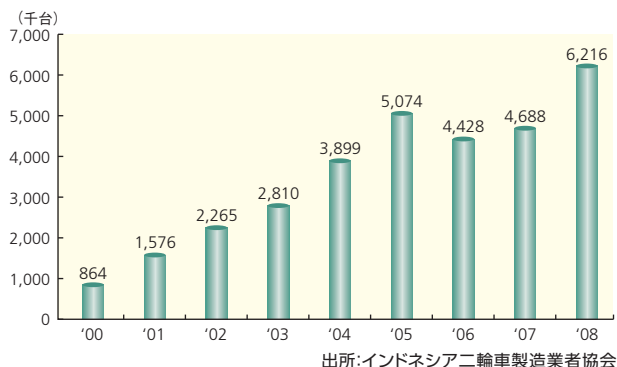


成長の翼

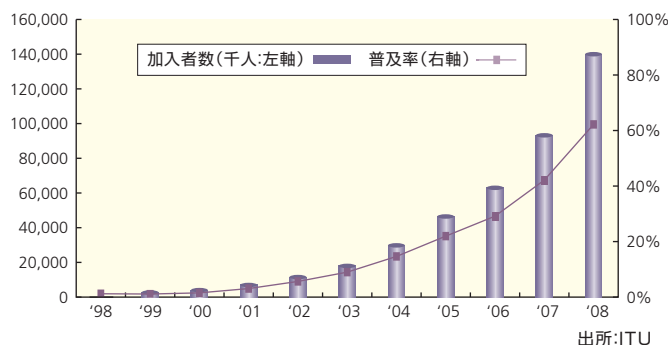
【消費】消費の拡大は内需による
経済成長の原動力に

- インドネシア経済は今後労働人口の増加と収入の上昇により、消費の拡大が期待されています。
- 2008年の1人当たり国民総所得は2,010ドル、2000年からの8年間で3.4倍となっています。
- 今後、消費スタイルの変化に伴い、二輪車や自動車、携帯電話といった耐久消費財への消費の拡大が期待されます。

■ 二輪車販売台数の推移

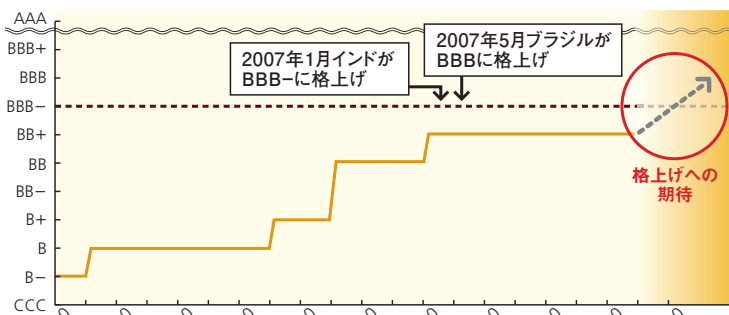


■ 携帯電話加入者数と普及率の推移



インドネシアの格付けについて

インドネシアは、現在BB+ (S&P)と投機的格付けにあります。
しかし、経済の成長およびインドネシアの安定に伴い、投資適格級へ格上げされる可能性があります。



出所:Bloomberg L.P. 格付けはS&P社の2009年9月末時点の自国通貨建て長期債格付けを使用。

「PCAインドネシア株式オープン」の特徴

- **インドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を実質的な主要投資対象とします。**
「インターナショナル・オポチュニティーズ・ファンズ・インドネシア・エクイティ」(以下「IOFインドネシア・エクイティ」という場合があります。)への投資を通じて、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
- **原則として、為替ヘッジは行いません。**
実質的に組入れた外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。そのため、為替相場の変動の影響を受けることになります。
- **PCAグループのネットワークを最大限活用します。**
「IOFインドネシア・エクイティ」の運用は、アジアにおける株式運用で実績のある、PCAグループのシンガポールの運用会社が行います。
- **ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。**
主としてインドネシアの株式に投資するルクセンブルグ籍外国投資法人「IOFインドネシア・エクイティ」および国内籍証券投資信託「PCA国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)」を主要投資対象とし、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

※ 上記は作成時点において各種データに基づき作成したものです。必ずしもその情報の正確性、完全性を保証するものではなく、今後記載内容に変更が行われることもあります。また、記載内容が将来期待通りにならないことで運用環境が悪化する可能性があります。さらに、将来の運用成果を約束するものではありません。



当ファンドのリスクは3ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「手数料等」の欄にてご確認ください。また、それぞれの詳細につきましては、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



PCAについて

- ピーシーエー (PCA) は世界有数の金融サービスグループ、英国プルデンシャルグループにおけるアジア地域統括部門の略称です。当ファンドの運用を担当するピーシーエー・アセット・マネジメントは、PCAグループの日本における資産運用会社です。
- PCAは日本を始めアジアにおける13の国や地域で生命保険、資産運用を中心に展開するアジア最大級の金融サービスグループです(2009年9月末時点)。
- いち早くアジアの成長性に着目し、アジア地域のニーズにあった商品やサービスを展開しております。

※ピーシーエー・アセット・マネジメント株式会社は、英国で設立されたプルデンシャル社(「英国プルデンシャル社」)の间接子会社です。英国プルデンシャルグループは、英国プルデンシャル社とその子会社および関連会社から構成され、世界各国で保険やその他の金融サービス事業を展開する世界有数の金融サービスグループです。160年以上の歴史を持ち、2009年6月30日現在その運用資産は2,450億ポンド(約39兆円、1ポンド=159.51円)にのびります。英国プルデンシャルグループは、主に米国で事業を展開しているプルデンシャルファイナンシャル社とはなんら関係がありません。



当社グループのシンボル、プルデンス(思慮分別を司る女神)は、伝統的な価値観と未来への希望を象徴しています。

【グループのシンボルマークの意味】

- 鏡 — 自己の真実を直視する能力
- 矢 — 熟練した射手の自信
- 蛇 — 思慮深さ、心づかい、安全



当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、ピーシーエー・アセット・マネジメント株式会社が、当ファンドの参考となる情報の提供およびその内容やリスク等を説明するために作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予想等を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて主としてインドネシアの株式を投資対象とします。当ファンドの基準価額は、実質的に組入れた有価証券の値動きのほか、有価証券の発行者の経営・財務状況の変化および格付けの変更等の外部評価の変化、為替相場の変動等による影響を受けることから、投資元本を下回ることがあります。

投資信託のお申込みに際してご留意いただきたい事項

- 投資信託は、預金および保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護および補償の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。
- 過去の実績は、将来の運用成果を約束するものではありません。
- 投資信託は、株式、公社債等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、ご購入時の価額を下回ることもあり、元金が保証されているものではありません。これらに伴うリスクおよび運用の結果生じる損益は、すべて投資家の皆様の負担となります。
- ご購入の際は、あらかじめ投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を必ずご確認の上、投資のご判断はご自身でなさいますようお願いいたします。

当ファンドのリスクは3ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「手数料等」の欄にてご確認ください。また、それぞれの詳細につきましては、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



お申込メモ 当ファンドの詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

商品分類	追加型投信/海外/株式
主な投資対象	外国投資法人「インターナショナル・オポチュニティーズ・ファンズーインドネシア・エクイティ」のクラスJ投資証券(米ドル建て)および国内籍証券投資信託「PCA国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
為替ヘッジ	原則として、為替ヘッジは行いません。
お申込の受付	原則として毎営業日に受付けます。ただし、インドネシア、シンガポールまたはルクセンブルグにおける金融商品取引所の休場日または銀行休業日を除きます。
お申込単位	販売会社がそれぞれ別に定める単位とします。
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額(当初1口当たり1円)とします。
当初申込期間	平成21年11月9日から平成21年11月27日まで
継続申込期間	平成21年11月30日以降
信託設定日	平成21年11月30日
信託期間	原則として無期限です。
繰上償還	信託財産の純資産総額が30億円を下回ることとなった場合、信託終了前に信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、委託会社の判断により繰上償還を行う場合があります。
途中換金	原則として毎営業日に受付けます。ただし、インドネシア、シンガポールまたはルクセンブルグにおける金融商品取引所の休場日または銀行休業日を除きます。
換金価額	換金の受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保金を差引いた価額とします。換金代金は、換金の受付日から起算して原則として6営業日目からお支払いします。
決算日	原則として毎年5月12日および11月12日(休業日の場合は翌営業日)とします。第1期決算日は、平成22年5月12日とします。
収益分配	毎決算時に収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。
課税関係	当ファンドは、課税上は株式投資信託として取扱われます。

手数料等

申込時に直接ご負担いただく費用	お申込手数料	3.675%(税抜3.5%)を上限として販売会社がそれぞれ別に定める率を、お申込受付日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額とします。
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保金	換金の受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額とします。
保有期間中に間接的にご負担いただく費用	実質的な信託報酬率	年1.8215%程度 注) 上記は、当ファンドの信託報酬(純資産総額に対して年率1.3965%(税抜1.33%)の他に、投資対象とする投資信託証券の信託報酬等を含めた実質的な信託報酬率です。ただし、当該信託報酬率は概算であり、投資信託証券の組入状況等により変動します。
	その他の費用	監査費用等の諸費用(純資産総額に対して上限年率0.1%)を含む「その他の費用」は運用状況等により変動するものであり、料率、上限額等を表示することができません。詳細につきましては投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。

※手数料等の合計額もしくはその上限額またはこれらの計算方法の概要は、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社およびファンドの関係法人

委託会社およびその他の関係法人の概要は以下の通りです。

委託会社	ピーシーエー・アセット・マネジメント株式会社 当ファンドの委託会社として信託財産の運用業務等を行います。
受託会社	住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社) 当ファンドの受託会社として信託財産の保管・管理等を行います。
販売会社	販売会社に関しては、次の照会先までお問合わせください。 ピーシーエー・アセット・マネジメント株式会社 TEL.03-5224-3400 (受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで、半日営業日は午前9時から午前11時半まで) インターネットホームページ http://www.pcaasset.co.jp/ 当ファンドの受益権の募集の取扱いおよび販売、換金に関する事務、収益分配金・換金代金・償還金の支払いに関する事務等を行います。